

2020年9月13日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第63巻第23号(通算3200号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この希望が失望に終わることはありません。私たちに与えられた聖霊によって、  
神の愛が私たちの心に注がれているからです。(ローマの信徒への手紙5:5)

せいれいこうりんせつ だい しゅじつれいはい  
**聖霊降臨節 第16主日礼拝**

しんがた  
《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インター**  
ネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます》

ぜん そ う もくとう  
前 奏 黙 禱

まね ことば ふくいんしょ  
招きの詞 ヨハネによる福音書 8章 32節

さんびか ばん よ ちから  
賛美歌 新生讚美歌73番「善き力にわれかこまれ」(©JASRAC)

せいしよ てがみ しやう せつ  
聖 書 ヨハネの手紙I 5章 10-21節

いの ばん なに も  
お 祈 り 453番「何ひとつ持たないで」(©JASRAC)

さんびか いま いのち わたし い うしだ ただし ぼくし  
賛美歌 520番「真実に清く生きたい」(©教団讚美歌改訂委員会)

しゅ いの きやうだんさんびかかいていいんかい  
主の祈り

ささげもの  
献げ物 (\*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ)(©JASRAC)

しゅくふく うしだ ただし ぼくし  
祝 福 牛田 匡 牧師

こうそ う ばん きやうだんさんびかいいんかい  
後 奏 アーメン コーラス (40-6番)(©教団讚美歌委員会)

ほうこ べいじ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

れいはい じゆうせき かた かんかく せき すわ  
《礼拝は自由席です。おとなりの方との間隔をあけて、席にお座りに  
なっただままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

招きの詞 <sup>ことば</sup> ヨハネによる福音書 8章 32節

<sup>32</sup> あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にする。

聖書 ヨハネの手紙 I 5章 10-21節

<sup>10</sup> 神の子を信じる人は、自分の内にこの証しを持っています。神を信じない人は、神を偽り者いつわにしています。神が御子みこについてされた証しを信じないからです。

<sup>11</sup> この証しとは、神が私たちに永遠の命を与えてくださったということです。そして、この命は御子の内に<sup>a</sup>あります。<sup>12</sup> 御子を持つ人は命を持っており、神の子を持たない人は命を持っていません。 (脚注 a: 別訳では「あるということです」)

<sup>13</sup> 神の子の名を信じるあなたがたに、これらのことを書いたのは、あなたがたが永遠の命を持っていることを知ってほしいからです。<sup>14</sup> 何事でも神の御心みこころにかな適うことを願うなら、神は聞いてくださる。これこそ私たちが神に抱いだいている確信です。<sup>15</sup> 私たちは、願い事を何でも聞いてくださると知れば、神に願ったことは、すでになえられたと知るのです。

<sup>16</sup> もし誰かが、死に至らない罪を犯しているきょうだいを見たら、<sup>b</sup> 神に願いなさい。そうすれば、<sup>c</sup> 神は死に至らない罪を犯した人に命をお与えになります。しかし、死に至る罪もあります。これについては、願い求めなさいとは言いません。

<sup>17</sup> 不正はすべて罪ですが、死に至らない罪があります。 (脚注 b: 「神に」は補足)

<sup>18</sup> 神から生まれた人は誰も罪を犯さないことを、私たちは知っています。<sup>d</sup> 神から生まれた人は自分を守り、悪い者がその人に触れることはありません。<sup>19</sup> 私たちは神から出た者であり、全世界は悪い者の支配下にあることを知っています。

<sup>20</sup> しかし、神の子が来て、真実な方を知る力を私たちに与えてくださったことを知っています。私たちは、真実な方の内に、その御子イエス・キリストの内みこにいます。この方こそ、真実の神であり、永遠の命です。<sup>21</sup> 子たちよ、偶像から身を守りなさい。

(脚注 c : 別訳「その人は…与えることになります、

d: 異本では「神から生まれた方がその人を守ってください」)

主の祈り (日本聖公会・カトリック教会共同訳)

天におられる私わたしたちの父ちちよ、み名なが聖せいとされますように。

み国くにが来きますように。

みこころが天に行いわれる通とおり、地にも行いわれますように。

私わたしたちの日ひごとの糧かてを、今日きょうもお与あたえください。

私わたしたちの罪つみをおゆるしくください。私わたしたちも人ひとをゆるします。

私わたしたちを誘ゆう惑わくにおおちいらせず、悪あくから救すくいください。

国くにと力ちからと栄光えいこうは、永遠えいえんにあなたのものです。 アーメン。

## 《先週のメッセージより》9月6日 聖霊降臨節第15主日礼拝

メッセージ「光る 光る すべては光る」より

牛田 匡 牧師

聖書：エフェソの信徒への手紙 5章7 - 20節

この『エフェソの信徒への手紙』は、不特定多数の教会で読まれるように執筆されていますが、「光」は「闇」との対比の中で描かれ、「光の子」とは「闇の中であって光を放つ存在」とされています。そして「今は悪い時代」とあります。聖書で言われている「悪」とは、人を抑圧することですが、この手紙が記された紀元1世紀の地中海世界は、現代以上に差別と格差、抑圧に満ちた世界でした。そして教会にはそのような社会の中で、弱く小さくされ居場所が与えられなかった人々が集まっていました。ここに引用されている歌は、最初期の教会の中で歌われていた賛美歌だと考えられています。「眠っている者よ、起きよ。死者の中から立ち上がれ」とは、イエス様の「復活」と同じ言葉です。苦難と抑圧に満ちた闇の中で、多くの人が殺されています。現代でも「身体は生きていても、霊は死んでいる人」がいます。それこそ仕事に「忙殺」されていたり、お金の「亡者」になっていたたりすることがあります。そのようなあらゆる死の力からキリストと共に立ち上がり、解放されて自身の本当の命を生きるようになる……。それが最初期の教会の姿でした。皆で教会に集まって賛美歌を歌い、聖書のお話を聞いてお祈りをする。そしてお互いに持ち寄った食事を感謝して皆で分かち合って頂く。差別と抑圧に満ちた暗い世の中であって、そのようにお互いが解放されてホッと一息をつける場所は、まさに光に満ちた時間と空間だったのだらうと思います。

さて今日、私たちはそのような教会の歴史の上に立ち「光を放つ者」として歩めているのでしょうか。そのことを思う時、坂村真民さんの詩を思い出します。

光る 光る すべては光る 光らないものは ひとつとしてない

みずから 光らないものは 他から 光を受けて 光る (坂村真民)

考えて見れば暗い夜空に白く輝く月も、自ら光ってはいません。しかも夜の闇が深ければ深い程、月は明るく輝きます。「光の子として歩みなさい」「光を放つ人になりなさい」と言われる時、実は私たちは自ら光り輝くことを求められているのではなく、神様と共にあって神様からの光を受けて、初めて光るのではないのでしょうか。だから私たちは自分の力の多い少ないに一喜一憂するのではなく、隣の芝生の青さを気にかけることもなく、安心して神様によって用いられていきたいと思えます。教会はその最初期から、時間もお金も力もない人たちの集まりでした。足りないだらけの人たちの集まりの中に、神様が共にいて下さって、補い合って余りある共同体として用いて下さいました。神様からの光を頂きながら、私たちは今日もここから用いられて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (9月6日)

礼拝出席 大人6名 献金 6,000円 感謝

◎次週 2020年9月20日(日) 敬老の日(聖霊降臨節第17主日) 礼拝

招きの詞 ペトロの手紙Ⅰ 2章 16節

聖書 ヨハネによる福音書 10章 1-6節

メッセージ「あくのじゅうじか」 水谷憲牧師

賛美歌 211番(◎教団讃美歌委員会) 120番(◎著作権消滅)

例年「敬老の日」礼拝は、特別養護老人ホーム「大阪好意の庭」の入居者の皆様と一緒に、礼拝を行い懐かしい童謡や唱歌などを歌って参りましたが、現在は新型コロナウイルス感染予防のために、ホームへの外来者の立ち入りが制限されています。そのために今年度はホームでの入居者の皆様とご一緒に「音楽礼拝」をすることは出来ませんが、教会堂より礼拝をインターネットで中継配信いたしますので、インターネットを介して皆様とご一緒に「敬老の日」を覚えてたいと思います。

◎ お知らせ

- ・本日、礼拝後に「聖書を読む会」を行う予定です。テキストは『創世記』24章で、コピーを配布いたします。お時間の許す方はどなたでもご参加ください。
- ・新型コロナウイルス感染予防のため、教会では引き続き、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。また教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加くださいますように、ご検討ください。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載いたしますので、そこからダウンロードして頂くことができますし、ご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。必要な方には、教会の『聖書』と『讃美歌』を貸し出しいたしますので、お申し出ください。
- ・また礼拝の録画保存は現在行っておりませんが、録画保存されたものを礼拝時間とは別の時間に視聴したいというご希望がおありの方は、牧師までご連絡を頂ければ、次回の「教会を考える会」の議題として検討させていただきます。今後も、感染状況の変化に伴う礼拝の持ち方など最新のお知らせについては、教会のホームページ、Facebook、LINE公式アカウントなどで、お知らせいたします。

◎ 次週以降の行事予定・礼拝奉仕者

	会場	メッセージ	行事
9/20	久宝寺地区 久宝まぶねこども園 (新園舎・教会堂)	水谷牧師	
9/27		牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
10/4		牛田牧師	世界聖餐日・教会を考える会
10/11		牛田牧師	(神学校日)聖書を読む会

